

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

宮崎県高原町 国保高原病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	訓	救
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
8,393	4,051	第2種該当	-	15:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（継続）
56	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	56
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
41	-	41

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

組織分化・連携強化 (関係機関・ネットワーク拡充等)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

当院は、国保直診病院として地域包括ケア体制の中心的立場から地域住民に医療を提供すると共に、町内唯一の病院として二次救急医療を提供できる医療体制を維持している。  
 少子高齢化や過疎化が急速に進展する中で、各種保健事業や在宅医療及び施設性診療、地域の求める医療を提供している。  
 また、インフルエンザや新型コロナウイルスといった感染症による外来・入院診療や予防接種等を行い、感染症対策でも求められる役割を積極的に果たしている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①②③ 地域包括ケア病床を増床して入院収益の向上を図り、職員の配置換え等により経費削減を行った結果、収支の改善に繋がった。
- ④ 現在、許可病床56床のうち、16床を休床しているため、病床利用率が低くなっている。当院の適正な病床数を把握した上で、病床の削減を検討していく必要がある。
- ⑤ 地域包括ケア病床数を10床から26床に増床したことにより、入院単価の増加に繋がった。
- ⑥ 令和5年度と比べ微増であるものの、類似団体平均より大きく回っているため、令和8年度を目途に健診事業の拡充を図ることで外來件数の増加を図り、併せて単価の向上に努めたい。
- ⑦ 職員の配置換え等による人員整理によって人件費抑制ができたが、年々増加する給与費に診療報酬が追いついておらず経営悪化の一因となっているため、随時職員数の適正化を図っていく必要がある。
- ⑧ 物価高騰による材料費の増加が感念される中、材料の管理等を行うことにより、例年と

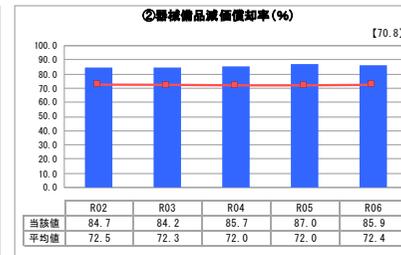
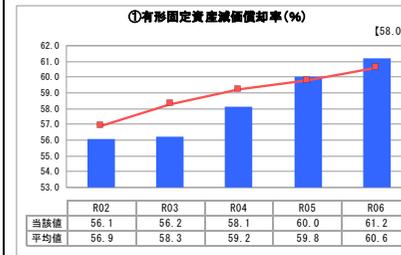
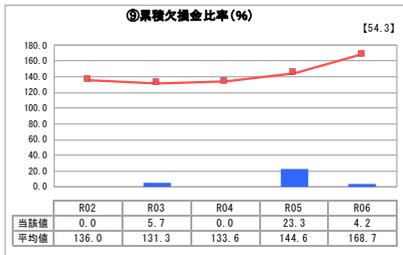
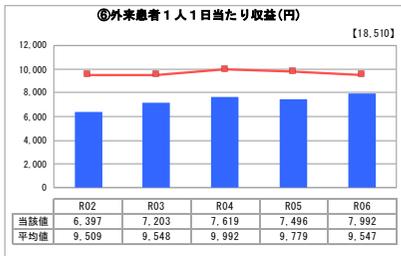
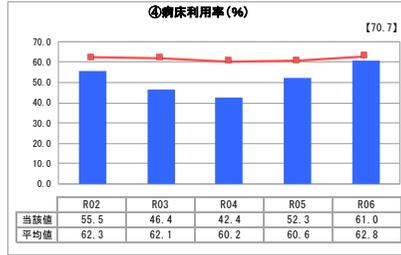
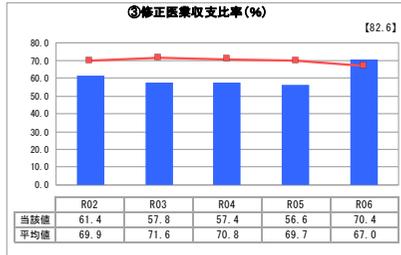
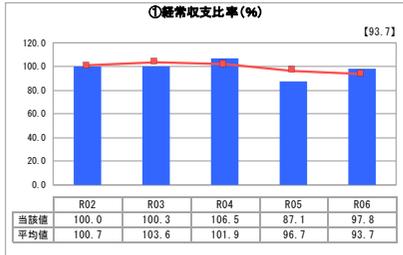
### 2. 老朽化の状況について

保有する有形固定資産の法定耐用年数が近づいている物が多くあり、特に機械品に係る物の多くが更新できていない状況にある。  
 したがって、更新が必要な資産をピックアップした上で、優先順位を設定し更新をしていくが、単年度で多くの資産を更新してしまうと将来の収支悪化の原因となってしまうため、年次的に起債を利用しながら更新をしていく。

## 全体総括

令和6年度から経営強化プランに基づいた経営を行っており、全体的な収支は改善されているが、人件費、物価高騰による支出上昇が診療報酬では全く追いついておらず、経営悪化の大きな一因となっている状況である。  
 そのため、抑制することが難しい人件費や物価高騰に係る支出額分を医療収入で可能な限り補うために、届出可能な施設基準の見直し、健診事業の拡充、外來収入の増加等を行い、健全な経営状況となるように努めている。

## 1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。